

令和8年度（2026年度）

おごせの教育

越生町のマスコット「うめりん」



越生町教育委員会

越 生 町 民 憲 章

わたくしたちは奥武蔵の自然と、歴史や伝統に恵まれた
越生町民であることを誇りに思い、さらによりよいまち
にするため町制施行１００周年にあたりここに憲章を定
めます。

お

おもいやりと助けあいで、
平和なすみよいまちをつくります

こ

ゴールめざしてひた走る
健康で明るいスポーツのまちをつくります

せ

せせらぎと緑のなかに
梅の香ただよう美しいまちをつくります

ま

まなぶ心を大切にし
文化の香り高い伝統のあるまちをつくります

ち

ちからをあわせ楽しく働き
活気ある豊かなまちをつくります

〔平成元年４月制定〕

越生町の木・花・鳥



木：うめ



花：やまぶき



花：つつじ



鳥：うぐいす

刊行に寄せて



越生町長 新井 康之

越生町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、関東平野と外秩父山地の接点にあり、豊かな緑に恵まれ、その中央に越辺川が流れる美しい景観の町です。早春の梅にはじまり、桜、山吹、つつじ、あじさい、秋の紅葉、そしてゆずの香りと、四季折々の花や香りが楽しめる風光明媚なところです。

また、関東三大梅林の一つである越生梅林、県内第一位の巨樹・上谷の大クスなど県指定の名勝や天然記念物をはじめ、町の各所に貴重な文化財が点在しており、豊かな歴史と文化に彩られた町として発展してまいりました。

このような自然や歴史・文化遺産に恵まれた越生町では、「みどりとせせらぎのまち越生 ～ 笑顔と活気に満ち 夢が広がるまちづくり」の実現に向けて、様々な施策の展開に努めております。

学校教育においては、教育重視・未来に向けた人材育成を目指し、学習支援員や教員業務支援員等の町費負担教職員を複数配置し、町独自の少人数学級編成を活かした、きめ細やかな指導を展開しております。また、次の世代を担う子ども一人ひとりを町の宝と捉え、子育て世代にかかる経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のために、幼稚園・保育園の園児から町内に在住する児童・生徒を対象に、給食費を無償化する取り組みを令和8年度も引き続き実施してまいります。

施設面では、令和7年度に梅園小学校校舎内トイレの改修を行いました。今年度は、越生中学校の教室の床修繕を予定しており、教育環境の整備を進めてまいります。

生涯学習関連では、避難所に指定している中央公民館体育館に移動式空調機を設置するほか、図書館及び視聴覚ホール等改修工事の設計を進めてまいります。その他の施設につきましても、安全・安心な施設整備を進めてまいります。

また、令和6年度まで行政区対抗で実施していた越生町体育祭を、令和7年度から個人参加型によるスポーツフェスティバルに変更し、気軽により多くの町民の方にスポーツを体験できる場を提供しています。

今後も教育委員会と連携して「安心元気な越生町 共に創る新しい未来！」の実現に向けた取り組みを進めてまいりますので、町民各位をはじめ、関係の皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

目 次

刊行に寄せて

越生町教育委員会 あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

I 教育行財政

- 1 歴代の教育委員会委員長・委員・教育長・・・・・・・・・・ 2
- 2 越生町教育振興基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 越生町教育行政重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 教育財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- 5 児童・生徒等の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5

II 学校教育

- 1 町立小・中学校の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
 - 越生小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
 - 梅園小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7
 - 越生中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8
- 2 学校の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 9
- 3 学校保健・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1
- 4 学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 2

III 生涯学習

- 1 生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3
- 2 スポーツ振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 5
- 3 公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 7
- 4 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 1
- 5 文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 3
 - 主要事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 3
 - 指定文化財等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 4

教育委員会委嘱等委員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 6

越 生 町 教 育 委 員 会



教育長
原口 仁



教育長職務代理者
青柳 高



委 員
内藤 久美子



委 員
仲 晃良



委 員
佐藤 直美

あいさつ

越生町教育委員会教育長

原 口 仁

「令和8年度 おごせの教育」の発行にあたり、日頃より越生町教育行政の推進にご理解、ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

越生町教育委員会は、学校教育、生涯学習の各分野の発展のため、令和6年度から令和10年度までを計画期間とした第4次「越生町教育振興基本計画」を策定し、さまざまな施策を展開しております。

同計画では、教育を取り巻く環境や、越生町の教育の現状を踏まえ、基本理念として『「人を育て文化を育む越生教育」を掲げ、子育てと教育のまちを目指す』また、『豊かな自然に恵まれた越生町のよき「文化」を生かし、社会の中で役割を果たすことのできる自立した「人」を育成することを目指す』と定め、各分野の基本目標を掲げ、越生町の教育の振興及び充実のため取り組んでおります。

学校教育においては、町費学習支援員を各校に複数配置し、越生町独自の少人数学級を編成することで、個に応じたきめ細やかな指導を行っております。また、外国語指導においては、外国語指導助手（ALT）を各校に常勤を1名ずつ配置し、教育活動全般で外国語に触れたり、ハワイやフィリピンなどの海外とのオンライン交流を積極的に実施したりすることで、国際理解教育の充実にも努めております。

学校施設整備では、令和2年度に導入したタブレット端末の更新を行い、令和8年度から新たなタブレット端末を使用し、先進的なデジタル教育を全児童生徒に提供できる環境を整えました。

生涯学習関連では、町民の皆さまが共に学び続けられるよう「一芸、一スポーツ、一ボランティア」を合言葉に、生涯学習の推進に努めてまいります。その活動の拠点となる公民館施設や体育施設の利用しやすい環境整備に取り組んでまいります。

また、町民の「生きがいつくり」の場として、社会教育の普及活動、公民館事業や図書館事業の推進活動、文化振興やスポーツ振興、文化財保護といった幅広い分野の取り組みも引き続き進めてまいります。

今後も、町民の皆様をはじめ、関係する皆様との連携を進めながら、町教育行政を推進してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 教育行財政

1 歴代の教育委員会委員長・委員・教育長

(昭和30年2月11日の町村合併以降)

歴代の委員長(教育長職務代理者)

氏 名	就任年月日	退任年月日	氏 名	就任年月日	退任年月日
町田 幸純	S30. 2. 24	S30. 8. 31	町田 至朗	S59. 10. 1	H元. 9. 30
畑仲 半三	30. 9. 13	31. 9. 30	岩鼻 澄	H元. 10. 1	7. 3. 31
長谷 脛輔	31. 10. 1	32. 11. 30	小島 弘一	7. 4. 1	18. 9. 30
新井 清次郎	32. 12. 1	36. 9. 30	吉澤 操	18. 10. 1	25. 3. 31
大附 甫	36. 10. 1	41. 9. 30	浅見 登	25. 4. 1	27. 9. 30
畑 盛太郎	40. 10. 1	46. 7. 4	※ 浅見 登	27. 10. 1	29. 9. 30
島野 芳彦	46. 7. 5	49. 9. 30	原口 仁	29. 10. 1	R 3. 9. 30
村田 清一	49. 10. 1	55. 9. 30	青柳 高	R 3. 10. 1	

※ H27. 10. 1 から教育長職務代理者

歴代の委員

氏 名	就任年月日	退任年月日	氏 名	就任年月日	退任年月日
町田 幸純	S30. 2. 9	S30. 8. 31	岩鼻 澄	S59. 10. 1	H 7. 3. 31
上 嘉平	30. 2. 9	30. 8. 31	宮崎 武男	60. 4. 1	S60. 9. 7
山中 悠賢	30. 2. 9	30. 8. 31	畑仲 鶴雄	61. 1. 1	H 4. 3. 31
長谷 脛輔	30. 2. 9	33. 9. 30	武内 照文	61. 10. 1	5. 9. 30
石井 由成	30. 2. 24	30. 8. 31	金子 猛雄	H元. 10. 1	7. 5. 31
木村 政吉	30. 9. 1	31. 9. 30	吉澤 敏	3. 10. 1	13. 9. 30
畑仲 半三	30. 9. 1	38. 4. 20	小島 弘一	4. 6. 10	18. 9. 30
比留間 明	30. 9. 1	36. 9. 30	新井 英利	5. 12. 15	10. 9. 30
佐藤 重吉	30. 9. 8	31. 9. 30	小久保 幸作	7. 6. 7	12. 9. 30
大附 甫	31. 10. 1	41. 9. 30	柳澤 一裕	7. 6. 7	13. 9. 30
新井 清次郎	31. 10. 1	51. 9. 30	加藤 照子	10. 12. 9	20. 9. 30
石井 佐助	33. 9. 7	36. 3. 31	吉岡 正人	12. 12. 5	20. 3. 31
島田 邦雄	36. 7. 1	38. 4. 20	堀 武美	13. 10. 1	17. 9. 30
松坂 久平	36. 10. 1	40. 9. 30	新井 雄啓	13. 10. 1	24. 11. 20
畑 盛太郎	38. 9. 8	46. 6. 30	吉澤 操	17. 10. 1	25. 3. 31
町田 静夫	38. 9. 18	41. 9. 30	深田 きよ	18. 10. 1	22. 9. 30
五十嵐 金平	40. 10. 1	44. 9. 30	利根川 常彦	20. 10. 1	28. 9. 30
小峰 源一郎	41. 12. 22	42. 12. 9	堤 憲章	20. 10. 1	24. 9. 30
島野 芳彦	41. 12. 22	50. 9. 30	竹内 晴美	22. 10. 1	R 4. 9. 30
村田 清一	43. 3. 14	60. 1. 26	内藤 久美子	24. 10. 1	
佐藤 彌彦	46. 10. 1	59. 9. 30	浅見 登	25. 4. 1	H29. 9. 30
町田 至朗	46. 10. 1	H元. 9. 30	吉澤 勝	25. 4. 1	27. 9. 30
新井 一郎	50. 10. 1	S56. 7. 31	仲 晃良	28. 10. 1	
酒本 隆男	51. 10. 1	53. 12. 31	原口 仁	29. 10. 1	R 3. 9. 30
管野 賢美	54. 3. 9	59. 9. 30	青柳 高	R 3. 10. 1	
小川 角次	56. 9. 9	H 3. 9. 30	佐藤 直美	4. 10. 1	
田口 次良	59. 10. 1	S62. 5. 27			

歴代の教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日	氏 名	就任年月日	退任年月日
五十嵐 金平	S30. 2. 2	S31. 3. 31	吉澤 敏	H 3. 10. 2	13. 9. 30
関根 要一	31. 10. 1	32. 3. 31	新井 雄啓	13. 10. 1	24. 11. 20
比留間 明	32. 4. 1	36. 9. 30	吉澤 勝	25. 4. 1	27. 9. 30
新井 清次郎	36. 10. 1	51. 9. 30	※ 吉澤 勝	27. 10. 1	R 3. 9. 30
新井 一郎	51. 10. 1	56. 7. 31	原口 仁	R 3. 10. 1	
小川 角次	56. 10. 1	H 3. 9. 30			

※ H27. 10. 1 から新教育委員会制度による教育長

2 越生町教育振興基本計画

第1次 平成21年度～平成25年度

第2次 平成26年度～平成30年度

第3次 平成31年度～令和5年度

第4次 令和6年度～令和10年度

I 第3次計画までの主な取組

<学校教育>

- 越生町「3つのあ」の実践〔平成17年～〕
- 土曜授業の実施〔平成23年～〕
- 義務教育9年間を見通した、小中一貫教育の実施〔平成26年～〕
- 越生小学校と梅園小学校の小小連携〔平成26年～〕
- 地域版サマースクールの実施〔平成29年～〕
- 越生子ども未来大学（子ども大学 越生）の開設〔平成29年～〕
- 年1回の英語検定の受験料を補助〔平成30年～〕
- 児童・生徒に一人一台のタブレットパソコン端末の導入〔令和2年～〕

<生涯学習>

- 町立図書館梅園分室の開設〔令和元年度～〕
- 町立図書館から小中学校図書室への配本開始〔令和2年度～〕
- 太田道灌像を越生駅西口へ建立〔令和2年度〕
- 越生駅西口総合案内所へリサイクル図書コーナーの設置〔令和3年度～〕
- 越生駅西口総合案内所及び町立図書館梅園分室で返却図書の受付を開始
〔令和3年度～〕
- 文化庁地域文化財総合活用推進事業で6町内の山車等の改修を実施〔令和4年度〕
- パークゴルフ場供用開始〔令和5年度〕
- 梅の里生涯学習講座開設〔令和5年度〕

Ⅱ 越生町が目指す教育

1 基本理念

「人を育て文化を育む越生教育」を掲げ、子育てと教育のまちを目指す。

豊かな自然に恵まれた越生町のよき「文化」を生かし、社会の中で役割を果たすことのできる自立した「人」を育成することを目指す。

2 基本方針

本計画の基本理念を踏まえ、今後5年間に取り組む2つの基本目標を示す。

学校・家庭・地域の教育力の向上

学校においては、確かな学力と自立する力の育成、豊かな情操と健やかな心身の育成、学習環境の整備・充実、家庭・地域の教育力の向上の4つの基本目標を定める。

学校・家庭・地域が連携・協働した取組を一層推進させ、「知・徳・体」のバランスのとれた9年間の一貫性のある教育を行い、「生きる力」を育成することを目指す。

生涯学習の推進

生涯学習においては、一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進、越生が誇る歴史文化の継承と活用、生涯学習施設の環境整備の3つの基本目標を定める。行政だけでなく、学校や地域、民間団体などと連携を図りながら事業を推進し、町民が生きがいをもって主体的に生涯学習に取り組むことができることを目標とする。

3 基本目標と取組

(1) 学校・家庭・地域の教育力の向上

① 確かな学力と自立する力の育成

- 個に応じたきめ細やかな指導
- 小中一貫教育の推進
- 多様な人々と協働した教育活動の充実
- 家庭生活・家庭学習の充実

② 豊かな情操と健やかな心身の育成

- 道徳教育、人権教育の充実
- 学校体育活動の充実
- 食育の充実

③ 学習環境の整備・充実

- 安全・安心な環境整備
- 教育機器の整備・充実
- 教職員の指導力向上
- 学校図書館の整備・充実
- 地域教材の活用

④ 家庭・地域の教育力の向上

- 越生町「3つの^あ」の推進
- 学校応援団活動の推進
- 家庭教育支援体制の充実

(2) 生涯学習の推進

① 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進

- 文化、芸術活動の普及促進とこれを活用したコミュニティの推進
- スポーツ・レクリエーション活動等を通じた健康づくりの推進
- アスリートの育成を視野に入れた各種団体、競技活動への支援

② 越生が誇る歴史文化の継承と活用

- 伝統文化の魅力発信と学びの充実
- 「ハイキングのまち」と連携した歴史伝統文化財の活用
- 郷土の偉人や町にゆかりのある人物を活用した取り組みの推進

③ 生涯学習施設の環境整備

- 公民館、スポーツ施設の環境整備と活用
- 町立図書館の蔵書の利用促進と読書普及の取り組みの推進
- 梅園コミュニティ館の活用と梅園地域の活性化

3 令和8年度越生町教育行政重点施策

越生町教育委員会は、令和6年度「第4次越生町教育振興基本計画」を策定し、5年間の教育施策の体系を明らかにした。越生町教育行政重点施策は、本基本計画を実現するため、各年度における重点的な取組を定めたものであり、以下が令和8年度に取り組む重点的な事業である。

目 標

- 1 学校・家庭・地域が連携・協働した取組を一層推進させ、「知・徳・体」のバランスのとれた9年間の一貫性のある教育を行い、「生きる力」を育成する。
- 2 学校や地域、各種団体と連携を図りながら社会教育活動の普及を図り、町民が生きがいをもって主体的に生涯学習に取り組める環境づくりを推進する。

基本方針

1 学校・家庭・地域の教育力の向上

(1) 確かな学力と自立する力の育成

個に応じたきめ細やかな指導

- 学習支援員等の町費会計年度任用職員を各校へ複数配置したり、町独自の少人数学級編制をしたりすることで、個に応じたきめ細やかな指導を展開する。
- 授業時間数を適切に確保しながら、児童生徒が主体的に授業に参加し、児童生徒同士が相互に意見を述べることで課題を多面的に捉え、より質の高い思考力・判断力・表現力を身に付ける「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。
- 外国語活動や外国語（英語）の学習において、A L Tを教育活動全般で活用し、海外とのオンライン交流や英語検定の受検などを通して、グローバル化の進展に対応する人材を育成する。
- 各教科の特質や指導場面に応じてI C Tを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、資質・能力の向上に取り組む。また、I C Tを活用したオンライン授業等、個に応じたきめ細やかな支援を行い、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。

小中一貫教育の推進

- 義務教育 9 年間にわたる児童生徒の学びと育ちの連続性を重視した教育を展開することで、学習意欲の向上や小学校から中学校への円滑な接続を推進する。
- 越生小学校と梅園小学校のお互いの良さを生かした、合同行事や合同授業等の小小連携の取組を充実させ、義務教育 9 年間の一貫した教育を推進する。

多様な人々と協働した教育活動の充実

- 様々な分野の知識・能力を持った越生町ならではの地域人材や企業等、地域社会との連携・協働した学びを推進する。
- ふるさと越生について考える授業や山林等の豊富な地域資源を活用した体験活動を行う「ふるさと教育」を推進し、郷土を愛する心や創造力を醸成する。
- オンライン等を活用した多様な関りを通して、コミュニケーション能力や問題発見・解決能力、情報活用能力等、将来の予測が困難な時代を生きぬくための基礎となる資質・能力を育成する指導の充実を図る。
- 学校運営協議会を軸に、地域と学校が連携・協働した教育活動を推進する。

家庭生活・家庭学習の充実

- 「越生町の教育」や「家庭生活・家庭学習のすすめ」等のリーフレットや夏休み前の学習成績表等を効果的に活用し、規則正しい生活の定着や家庭学習の習慣化を図る。
- A I ドリル等を活用して、児童生徒一人ひとりの学習能力に応じた課題を設定し、家庭学習の習慣化を図り基礎学力の定着を図る。

(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成

道徳教育、人権教育の充実

- 「特別の教科 道徳」を中心に、全ての教育活動を通じて道徳的实践を促し、発達段階に応じた道徳教育を推進する。また、児童生徒の夢や豊かな心を育むために、家庭・地域・学校が連携した道徳教育を推進する。
- 「いじめ防止対策推進法」や「いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめの未然防止及び解消に向けた積極的な認知と早期対応に向けた組織体制を強化し、いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進する。また、いじめ防止の取組やいじめ発生時の適切な対応等についての研修の充実を図る。

- ネットを媒体としたいじめやトラブル等から児童生徒を守るために、発達の段階に応じた情報モラル教育を通して、学校・家庭・関係機関が連携を図りながら、児童生徒が主体的に適切なインターネットの利用ができる力を育む教育を推進する。また、児童生徒自身によるインターネットの利用に関するルールづくり活動等を推進する。
- 義務教育9年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校やいじめ等の問題行動を未然に防止する。
- 児童生徒の心理又は福祉に関する専門的な知識を有する、スクールカウンセラー、さわやか相談員、スクールソーシャルワーカー及び外部の専門性の高い人材等を活用するとともに、適応指導教室等の機能強化を推進し、教育相談体制の充実を図る。
- 豊かな人権感覚を育むため、参加体験型学習を取り入れた「人権感覚育成プログラム」等を活用し、全教育活動を通して、他者を思いやる心や人権感覚を育成する。
- 児童生徒が読書に親しむ機会の提供と環境の整備を行い、読書に親しむ機会を充実させ表現力や想像力を育む。
- ふるさと越生について考える授業や山林等の豊富な地域資源を活用した体験活動を行う「ふるさと教育」を推進し、郷土を愛する心や創造力を醸成する。(再掲)

学校体育活動の充実

- 児童生徒一人ひとりが、自分の健康や体力に関心を持ち、運動を楽しめる体育の授業や体育的活動を実践することにより、主体的に運動に取り組む児童生徒を育成する。
- 学校の教育活動全体を通じた体系的な学校体育活動の充実を図り、児童生徒が運動・スポーツの楽しさを実感できる体育の授業や体育的活動を推進し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための資質を育成する。
- 生涯にわたって健康な生活を送る基礎を築くため、学校と家庭が連携し、運動・食事・睡眠などの規則正しい生活習慣や歯・口の健康づくり等、健康の保持増進を目指した取り組みを推進する。

食育の充実

- 自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、学校給食を「生きた教材」とし、「食」に対する理解や、地域への関心を高める。
- 食や栄養に関する指導を担う栄養教諭を中心に、子供たちに望ましい食習慣が身に付くように、するとともに、自ら「食」を選択する力を育むため、学校給食を核に家庭・地域との連携を密に図り、食育を推進する。

(3) 学習環境の整備・充実

安全・安心な環境整備

- 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図る。
- 児童生徒の安全・安心を確保するため、学校安全を学校経営方針に明確に位置付け、学校安全計画に基づく組織的・計画的な活動を推進する。
- 児童生徒が、安全に対する意識を高め、危険を予測し、回避する能力を身に付け、主体的に行動できるよう、避難訓練等の安全教育を計画的に実施する。また、危機管理マニュアルの定期的な見直しを実施し、それらを的確に実施できるよう研修の充実を図る。
- 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保する。また、自転車運転に関する講習会などを実施し、自転車に乗る際には、小・中学生ともにヘルメットを着用すること等、ルールやマナーを守り、安全に生活できる児童生徒を育成する。
- 「地域学校安全指導員（スクールガードリーダー）」、「町内の防犯組織」、「見守り隊（ボランティア）」、「子ども110番の家」などと連携・協力し、地域ぐるみの学校安全体制を整備し、児童生徒の安全を確保する。また、「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に配信し、保護者等に周知する。

教育機器の整備・充実

- 各種データを活用した効果的な教育の実践を図り、児童生徒の情報活用能力を育成するため、ICT環境を計画的に整備する。

教職員の指導力向上

- 優れた教育実践を行っている教職員の知識や技能を3校で共有するなど、教師一人ひとりが、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めるための研修の充実を図る。
- 管理職をはじめ教職員に対して、特別支援教育に関する研修や、特別な教育的支援を必要とする児童生徒や幼児への支援方法に関する研修を実施し、指導体制の充実を図る。
- 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、今日的な課題に即した研修を実施する。
- 町内学力向上推進委員会等の各種委員会を充実させ、3校が「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図る。

- 本町の課題等を近隣市町村と情報共有し、課題解決のための積極的な人事交流を図る。

学校図書館の整備・充実

- 蔵書管理システムを活用し、蔵書の更新や廃棄を適切に実施し、本の新陳代謝を進め、学校図書館の充実を図る。
- 町立図書館との連携を密に図り、児童生徒が読書に親しむ機会の整備を進める。

地域教材の活用

- 「越生こども未来大学」及び「サマースクール」を実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させる。
- 様々な分野の知識・能力を持った越生町ならではの地域人材や企業等、地域社会との連携・協働した学びを推進する。(再掲)

(4) 家庭・地域の教育力の向上

越生町「3つの㊟」の推進

- 「3つの㊟」のポスターや「越生町の教育」のリーフレットを活用し「3つの㊟」を広く周知し、大人が手本を示すまちづくりを推進しながら、子供の発達の段階に応じた指導を行っていく。
- 新入園児にリーフレットを配付し、「3つの㊟」の啓発を行い、幼・保・小・中が「3つの㊟」の視点での共通理解を図ることで、幼・保・小・中が連携した教育を推進する。

学校応援団活動の推進

- 地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていく社会を実現するため、学校運営協議会と学校応援団活動が協働しながら、子供たちの学びや成長を支える活動を推進する。
- 学校・家庭・地域全体が目標を共有し、幅広い地域人材の参画の下、子供たちの学びや成長を支える学校応援団活動を活性化させる。
- 地域とともにある学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が一体となった教育の実現に向けて、学校運営協議会の充実を図る。

家庭教育支援体制の充実

- 町や県が作成した各種リーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせる。

- 家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、家庭教育の充実を推進する。
- スクールソーシャルワーカーの専門性を生かし、家庭との相談体制や関係機関とのネットワークの構築等、多様な家庭支援体制の充実を図る。

2 生涯学習の推進

(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進

文化、芸術活動の普及促進とこれを活用したコミュニティの推進

- 公民館等サークル団体の活動を支援するとともに、幅広い年代層の活動促進を図る。
- 文化協会をはじめとした教養文化芸術団体やサークル活動の育成と継続的な活動を支援するとともに文化祭を開催し発表の機会を提供する。
- 「こどもフェスティバル」や「こどもおはやし大会」など、こどもを対象とするイベントを通して、こどもたちの健全な育成と「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みを支援する。
- ひまわりこども室の活動を通じて「こどもの居場所づくり」を進めるなど、子育て支援策との連携を図る。
- 高齢者をはじめとした町民一人ひとりの生きがいを支援するため、生涯学習講座の普及、促進を図る。
- ボランティア活動を普及させるため、社会福祉協議会と連携し、その意義を知ってもらう機会をつくるとともに、すでに実施しているボランティア活動の支援、拡充を図っていく。

スポーツ・レクリエーション活動等を通じての健康づくりの推進

- 手軽にできるスポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくりを推進する。
- 町全体で取り組めるスポーツフェスティバルを開催し、スポーツを身近に感じながら、町民の健康づくりを推進する。
- スポーツ推進委員や各地区のスポーツ推進員と連携して、町全体に普及させられるニュースポーツの導入を検討する。
- いつでも、どこでも、誰もが、気軽に実践できる「ラジオ体操」の普及を図り、健康づくりの取り組みを推進する。

アスリートの育成を視野に入れた各種団体、競技活動への活動支援

- スポーツやサークル活動を通じてのボランティア活動を推進する。
- スポーツ協会を中心に、各種スポーツイベントを開催する。
- 優れた功績や成績を残したアスリートを、スポーツフェスティバルの際に表彰し、アスリート育成に関する意識の醸成を図る。

(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用

伝統文化の魅力発信と学びの充実

- 文化財の現状を把握し、実情に沿った効果的な保存策を講じる。
- 国や県の補助事業等を活用して、文化財の保存と活用を図る。
- 町内の小学生に町の自然・歴史・文化を知ってもらう機会をつくる。
- 多くの観光客が訪れる越生まつりや、文化祭の場を活用して、越生町の歴史伝統文化の紹介、取り組みなどを披露する場を設ける。

「ハイキングのまち」と連携した歴史伝統文化財の活用

- ホームページやSNSを利用し、「ハイキングのまちづくり」と連携した文化財の活用を図る。
- 文化財解説版や越生再発見100ポイント標柱、「越生探訪地図」などを活用して、町の自然・歴史・文化を町内外に向けて発信する。

郷土の偉人や町にゆかりある人物を活用した取り組みの推進

- 郷土にゆかりある人物の周知・理解を通して、郷土意識の高揚を図る。
- 太田道灌、渋沢平九郎といった町にゆかりのある人物を積極的にPRする。

(3) 生涯学習施設の環境整備

公民館、スポーツ施設の環境整備と活用

- 施設の老朽化に対応した予防保全と、計画的な維持管理に努める。
- 毎週、定期的な施設点検を行うなど、体育施設の適切な維持管理を実施する。
- 各体育施設の定期的な点検を行い、町民が気持ちよく使用できる環境を整える。

町立図書館の蔵書の利用促進と読書普及の取り組みの推進

- 町立図書館の蔵書を有効活用し、小中学校図書室との連携を図る。
- 図書館こどもまつりや各種イベントを通じて、こどもからお年寄りまで幅広い年代層が図書館と関わる機会を設ける。

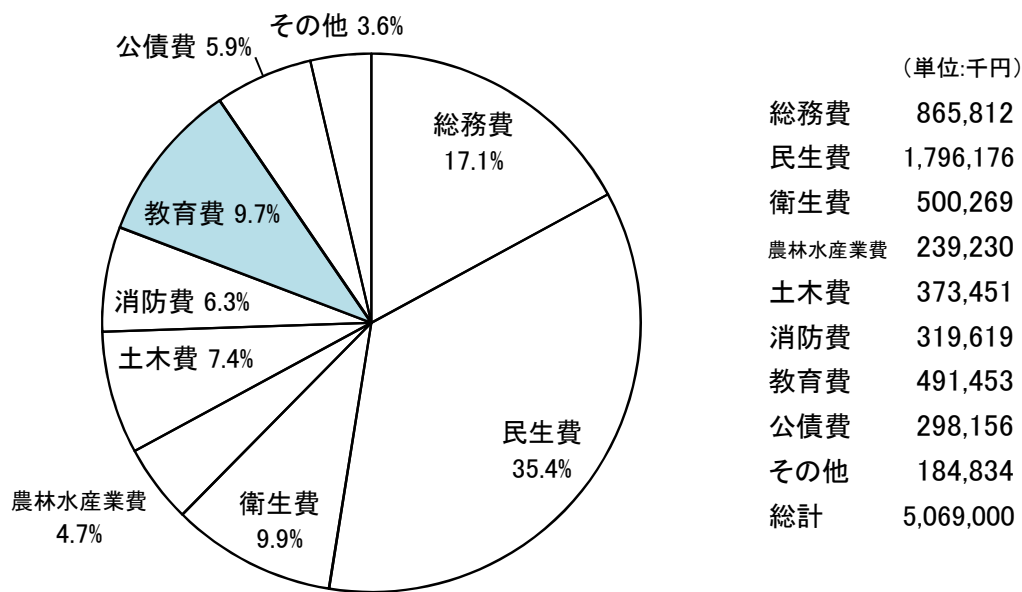
- 図書館を訪れるきっかけづくりとして、ひまわりこども室とのイベント等の連携を図る。

梅園コミュニティ館の活用と梅園地域の活性化

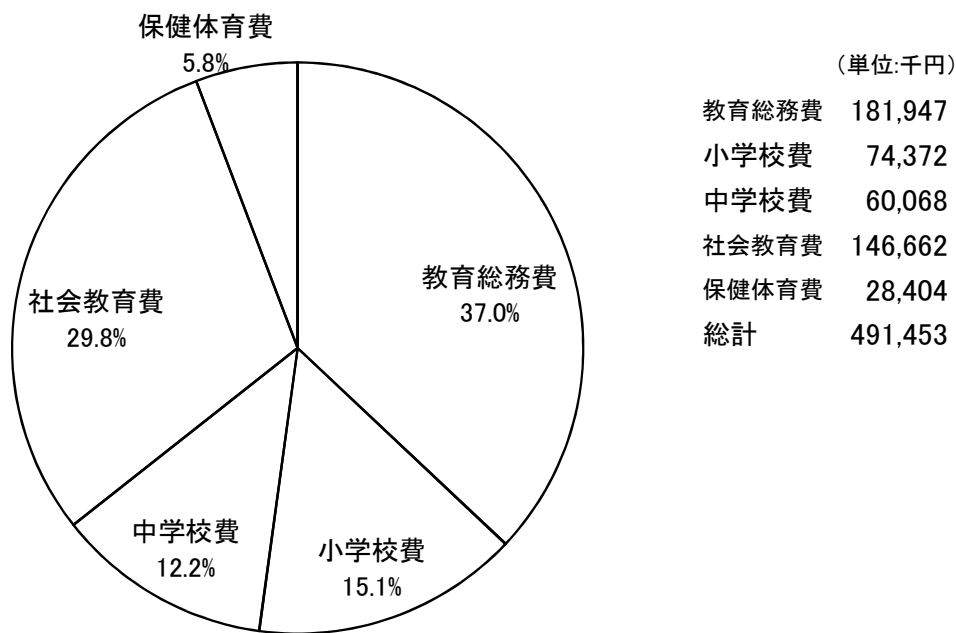
- 梅園コミュニティ館内に開設した「越生町立図書館梅園分室」への配本の充実を図る。
- 図書館梅園分室と、「梅園学童保育室」や「ふれあいルーム」との連携を図る。
- 梅園コミュニティ館の利用者が目を引くような魅力的な取り組みを展開する。
- 梅園コミュニティ館「納涼ふれあいまつり」を通して、多くの町民に存在を知ってもらうことで梅園地域の拠点としての機能を充実させる。
- 当該施設を気軽に訪れることができる環境づくりを進める。
- 隣接する梅園小学校と連携した取り組みや事業を展開する。

4 教 育 財 政

令和8年度一般会計歳出予算



令和8年度教育費



5 児童・生徒等の推移

5月1日調査

児童・生徒（学級数）の推移

	越生小（学級数）	梅園小（学級数）	越生中（学級数）
平成12年度	689 (19) 1	176 (6)	491 (13) 1
13	693 (19) 1	177 (6)	429 (12) 1
14	683 (20) 1	166 (6)	422 (12) 1
15	660 (18) 1	167 (6)	425 (13) 1
16	620 (18) 1	160 (6)	435 (12) 1
17	609 (18) 1	146 (6)	436 (12) 1
18	564 (16) 1	142 (6)	407 (12) 1
19	535 (16) 2	138 (6)	398 (12) 1
20	534 (16) 2	147 (6)	372 (11) 1
21	507 (16) 2	144 (6)	349 (10) 1
22	510 (17) 2	127 (6)	327 (9) 2
23	483 (16) 2	118 (6)	338 (10) 2
24	494 (17) 2	100 (6)	312 (10) 2
25	474 (17) 1	91 (6)	318 (10) 2
26	444 (16) 1	81 (6) 1*	319 (10) 2
27	427 (15) 1	68 (6) 1	319 (10) 2
28	411 (14) 1	60 (6) 1	300 (10) 1
29	389 (13)	60 (6) 1	268 (9) 2
30	370 (12) 2	60 (6) 1	261 (9) 2
令和 元年度	370 (12) 2	63 (6) 1	254 (9) 1
2	365 (12) 3	67 (6) 2	236 (8) 1
3	343 (12) 4	73 (6) 2	220 (9) 1
4	310 (12) 3	85 (6) 2	215 (9) 1
5	285 (12) 3	86 (6) 2	210 (9) 2
6	273 (12) 3	80 (6) 2	213 (9) 2
7	248 (12) 3	72 (6) 2	216 (9) 2
8	238 (12) 2	68 (6) 2	212 (9) 3

*特別支援学級数外数

小・中学校 新入生（卒業生）の推移

	越小新入生（卒業生）	梅小新入生（卒業生）	越中新入生（卒業生）
平成12年度	112 (109)	29 (26)	154 (199)
13	117 (107)	28 (35)	133 (141)
14	99 (126)	20 (30)	132 (155)
15	99 (119)	30 (31)	158 (135)
16	80 (118)	25 (25)	146 (129)
17	104 (109)	20 (29)	134 (158)
18	69 (112)	26 (27)	133 (138)
19	86 (144)	23 (19)	127 (133)
20	101 (97)	22 (28)	109 (138)
21	72 (76)	21 (28)	114 (123)
22	84 (101)	9 (21)	97 (109)
23	77 (66)	10 (28)	119 (118)
24	80 (81)	11 (25)	94 (99)
25	68 (95)	15 (23)	107 (118)
26	63 (72)	9 (24)	118 (94)
27	61 (80)	8 (12)	95 (107)
28	64 (77)	4 (11)	87 (118)
29	56 (79)	11 (11)	85 (95)
30	60 (65)	13 (15)	88 (88)
令和 元年度	61 (60)	17 (9)	77 (88)
2	54 (62)	12 (9)	70 (90)
3	42 (68)	10 (5)	71 (77)
4	42 (55)	12 (15)	72 (73)
5	32 (58)	15 (17)	68 (71)
6	43 (59)	11 (17)	74 (71)
7	32 (52)	14 (12)	74 (69)
8	43	9	64

Ⅱ 学校教育

1 町立小・中学校の概要



校長 日向野 勝

越生小学校

所在地 入間郡越生町黒岩 2 5 1 番地
電 話 0 4 9 - 2 9 2 - 2 0 7 1
校 長 日向野 勝 教 頭 新井 敬
児童数 2 3 8 名 職員数 3 6 名

1 学校教育目標 《子どもたち一人一人が輝いている学校》

- ・ すすんで学び合う子
- ・ 仲よく助け合う子
- ・ 元気にやりぬく子

2 学校の特徴

本校は、明治6年に開校し、本年度153年を迎える長い歴史と伝統をもつ学校である。昭和52年、現在地に新たに防音校舎が建てられ、中央公民館の位置から移転し現在に至っている。裏山は、関東一を誇る五大尊のツツジ園となっており、花の季節には訪れる人の波が続く。近くには越辺川も流れ、豊かな自然につつまれ、年間を通して楽しく充実した、子どもたちの学習の場となっている。

平成11年には校舎の耐震・改修工事、平成21年には各教室の大型テレビと屋上の太陽光発電装置の設置工事、そして平成26年には全教室へのエアコン設置工事が行われ、内外ともに美しく、安全で充実した学習環境を備えている。

また、平成15年度には、県教育委員会よりパイオニアスクールの指定を受け、少人数指導を中心とする学力向上について研究した。平成19年度からは、2学期制を実施し、教育活動の充実を図るとともに、梅園小学校、越生中学校と連携して学力向上の取組を進めている。また、平成24年度には埼玉県教委嘱の「教育に関する3つの達成目標」の学力向上にかかる研究成果の発表を行い、この研究により平成25年度に埼玉県・教育ふれあい賞を受賞した。平成27、28年度及び平成29、30年度に、文部科学省国立教育政策研究所から小学校理科の研究指定を受け、指導法の研究に取り組み、県内外に成果を発信した。また、平成29年度には、越生町の特徴を生かした学校給食で「第12回全国学校給食甲子園」に出場し、越生町の食育が高く評価され優勝した。令和2年度にはトイレの大規模改修、令和3年度には自動水栓の設置、外トイレの改修を終え、さらなる教育環境の整備が図られた。また児童1人に1台のタブレットパソコンが整備され、多様な授業を展開している。令和4年度には「第17回全国学校給食甲子園」決勝大会に再び進出し、郷土にゆかりのある人物にちなんだ献立で準優勝を獲得した。令和5年度には150周年記念事業を行い、令和7年度には児童の学習用タブレットパソコンの入れ替えを行った。

3 学校経営方針

○学ぶ喜びのある学校

- ・ 分かる、できる、伝える喜び
- ・ 学んだことを活用する喜び

○落ち着きと規律のある学校

- ・ 「越生っ子」のきまりの徹底
- ・ 越生町「3つの図」の励行

○安全できれいな学校

- ・ 安全で快適な施設設備の維持
- ・ 隅々まで行き届いた清掃

○保護者や地域とともに歩む学校

- ・ 学校運営協議会を踏まえた改革
- ・ 学校、家庭、地域の一体化





校長 関口 学

梅園小学校

所在地 入間郡越生町小杉 5 4 7 番地

電話 0 4 9 - 2 9 2 - 3 2 1 5

校長 関口 学 教頭 小川 俊一

児童数 6 8 名 職員数 2 4 名

1 学校教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

スローガン

「まなびあい ひびきあい
つながりあう みんなの梅小」

2 学校の特徴

梅園小学校は、緑豊かな山々に囲まれ、令和8年度に開校153年目を迎える歴史ある学校である。校区内には、県内屈指の観光名所である「越生梅林」をはじめ、「黒山三滝」や「上谷の大クス」が点在している。こうした豊かな自然と四季の移ろいを身近に感じられる環境を活かし、特産の梅を用いた「梅もぎ」や「梅干し作り」など、地域と一体となった体験学習を古くから実践している。

本校は「小規模特認校制度」を導入しており、少人数ならではのきめ細かな指導と、特色ある教育活動を展開している。また、町全体で取り組む2学期制の利点を生かし、地域資源を最大限に活用した柔軟な教育課程を編成している。さらに、越生小学校との合同授業（小小連携）や、中学校との密接な連携による「小中一貫教育」を推進し、9年間を見据えた豊かな人間性の育成に努めている。全教職員が児童一人一人に寄り添い、ICTも活用しながら、子供たちが主体的に学び続けられる「心理的安全性の保たれた」環境づくりを推進している。



3 学校経営方針

（1）目指す子供像

- 自ら学びに挑戦し、最後まで粘り強く頑張る子（かしこく）
- 自分も友達も認め、みんなを大切にできる子（やさしく）
- 夢や希望を持ち、目標に向かって頑張る子（たくましく）

（2）目指す教職員像

- 情熱と使命感及び豊かな人間性をもった魅力的な教職員
- 個を認め、良さを伸ばす教職員
- 共に楽しみ、同僚性を高めて指導力を磨く教職員

（3）目指す学校像

- 学ぶことが楽しく、魅力的な学校
- 子供・家庭・地域から信頼される開かれた学校
- あいさつと歌声が響く学校
- 心理的安全性の保たれた学校



4 指導の重点項目

- （1）学力向上と自立する力の育成（かしこく）
- （2）豊かな心の育成（やさしく）
- （3）たくましい心とからだの育成（たくましく）
- （4）教職員の資質向上
- （5）安全・安心な学校
- （6）家庭・地域との連携





越生中学校

所在地 入間郡越生町大字成瀬 6 1 8 番地
電 話 0 4 9 - 2 9 2 - 3 1 1 4
校 長 本橋 友見子 教頭 秋元 政康
生徒数 2 1 2 名 教職員 3 6 名

校長 本橋友見子

1 学校教育目標

校 訓 立 志

学校教育目標 自立の力を育む

【目指す生徒像】
○志を立て 自ら学ぶ生徒
○思いやりと感謝の心を持つ生徒
○体を鍛え がんばり抜く生徒



2 学校の特色

本校は2学期制や土曜日授業の利点を活かし、十分な授業時間を確保する中で生徒の学力・体力の向上に努めている。また、学校行事や部活動にも力を入れ、「授業・行事・部活動に燃える越生中」をスローガンに掲げ、生徒一人一人が主体的に活躍する場を多く設けている。

環境面では、高台の広い敷地に、校舎、二面のグラウンド、体育館、武道場、プール、給食ホールを有している。平成17～18年度には校舎の耐震及び木質化工事が行われ、全教室にエアコン及び大型液晶テレビが設置された。また、平成22年度には太陽光発電設備を備えた武道場と技術科室が完成し、平成25年度にはプールの改修、さらに平成28年度には本校の特色の一つであるランチルームの大規模改修が行われた。令和2年度には、一人一台の学習用端末をはじめとするICT環境が整備され、オンラインでの授業や海外との交流等も実施している。恵まれた教育環境のもと、生徒たちは日々充実した学校生活を送っている。

現在、越生町の未来を担う人材を育成するために、生徒や家庭・地域と教職員とが協力しながら、まちへの愛着と郷土愛を育む「ふるさと教育」にも力を入れ取り組んでいる。令和7年度から月例ハイキングや駅舎清掃等のボランティア活動に、立候補者を募り参加している。

3 学校経営方針

—全ては生徒の明るい未来のために—「チーム越中」

～全教職員がよりよい学校を創っていこうという共通理解で教育活動を推進～

- (1) 一人一人の生徒が笑顔で輝く学校【成長を実感する学校】
- (2) 保護者や地域に信頼され 愛される学校【地域とともにある学校】
- (3) 生徒と共に喜び、生徒と共に頑張り成長する教職員のいる学校【やりがいのある学校】



4 目指す学校像

愛・感動・夢あふれる学校 ～地域とともに～

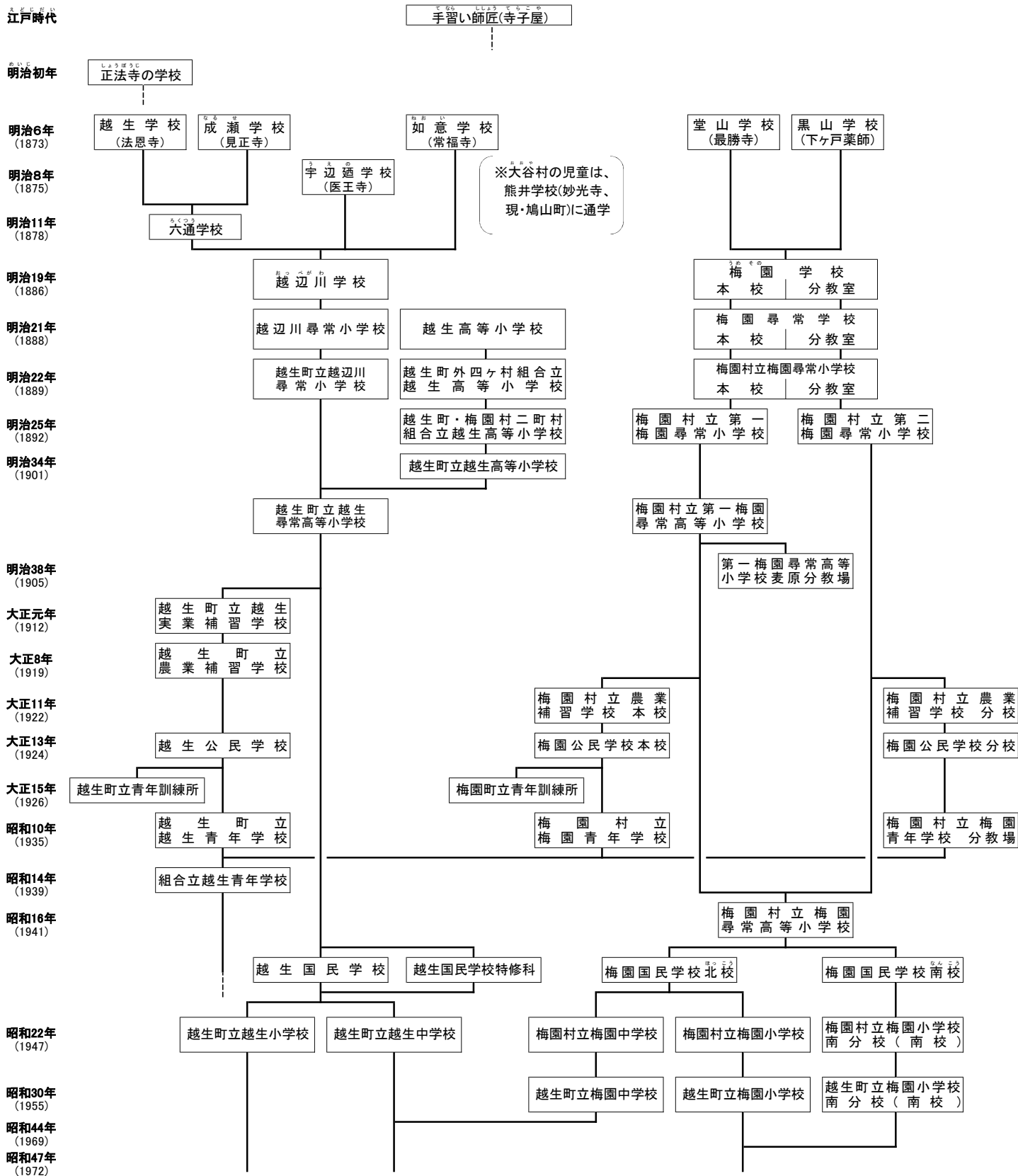
- 互いのよさを認め合い 誰にとっても居心地のよい学校 <愛>
- できる喜び やり遂げる達成感を味わえる学校 <感動>
- 自分の夢(志)に向かって 努力できる学校 <夢>

5 越生中の合い(愛)言葉

- 心をこめたあいさつ ○響く歌声 ○安心・安全できれいな学校



2 学校の変遷



※くわしくは、『越生の歴史 Ⅲ(近代)』第5章「越生の教育の歩み」及び、『越生の歴史 近代資料<古文書・記録>』第2章第9節「寺子屋から小学校へ」、第3章第7節「教育の組織化」、第4章第3節「学校教育の充実と青年教育」、第5章第5節「恐怖下の教育」、第6章第3節「戦時下の教育」をご一読ください。

越生小学校		梅園小学校		越生中学校	
明 6	越生・如意・成瀬学校設立	明 6	堂山・黒山学校設立	昭22	越生町立越生中学校
明 8	宇辺廻学校設立	明19	統合して梅園小学校		梅園村立梅園中学校設立
明11	六通学校設立	明25	第一梅園尋常小学校	昭23	梅園中学校竣工
明19	統合して越辺川小学校		第二梅園尋常小学校に分かれる	昭25	越生中学校竣工
明21	越生高等小学校付設			昭44	越生中と梅園中が統合し越生町立越生中学校となる
明34	越生尋常高等小学校と改称	明34	第一梅園尋常高等小学校と改称	昭45	校舎竣工
昭16	越生国民学校と改称		統合して梅園尋常高等小学校となる	昭53	ランチルーム竣工
昭22	越生小学校と改称	昭16	梅園国民学校と改称	昭63	校舎大規模改造終了
昭52	防音改築により移転	昭22	梅園小学校と改称	平 3	教育用コンピュータ設置
昭53	防音校舎改築竣工	昭24	南校舎増築	平 9	教育用コンピュータ入替
平 4	教育用コンピュータ設置	昭30	町村合併により越生町立梅園小学校となる	平10	耐震診断
平 9	耐震診断				ランチルーム屋根塗装
平10	大規模改修・補強設計実施設計業務委託	昭32	北校舎建築	平12	体育館雨漏り改修工事
平11	大規模改修・耐震補強工事給食室改修実施設計業務委託	昭48	南分校（黒山）を廃す	平16	教育用コンピュータ入替
平12	給食室改修工事	昭57	防音校舎改築竣工	平17	教室棟大規模改修・耐震補強・空調・木質工事
	教育用コンピュータ入替	平 6	校舎増築（コンピュータ設置）	平18	管理棟大規模改修・耐震補強・空調・木質工事
平13	プールサイド改修工事	平11	プールサイド改修工事		自動体外式除細動器導入
平16	屋上雨漏り改修工事	平12	教育用コンピュータ入替	平19	2学期制実施
	校舎内に学童保育室開設	平17	校地内に学童保育室開設	平20	体育館地震補強設計
平18	自動体外式除細動器導入	平18	生活排水を完全本下水化	平21	体育館耐震補強及び老朽改修工事 学校ICT整備（～平22）・武道場・太陽光発電設置・技術科室建設（～平23）
平19	2学期制実施		自動体外式除細動器導入		
平20平21	図書室空調整備	平19	2学期制実施、耐震診断	平23	武道場・技術科室竣工
	学校 I C T 整備（～平22）	平20	図書室空調整備	平25	教育用コンピュータ入替・プール改修・太陽光発電設置（校舎）・省エネガラス改修
	太陽光発電設置（～平22）	平21	校舎地震補強設計		
平22	プール等給排水工事		学校 I C T 整備（～平22）		
平26	普通教室等空調整備	平22	校舎耐震補強及び施設維持工事		
令元	タブレット P C 導入（PCルーム）	平25	特別支援学級「けやき」学級新設		
令 2	トイレ大規模改造工事	平26	普通教室等空調整備	平28	ランチルーム耐震改修工事
	タブレット P C 児童一人一台整備	令元	タブレット P C 導入（PCルーム）	平30	タブレット P C 導入（3校共通使用）
令 3	環境改善改修工事（外トイレ・水道蛇口改修）	令 2	タブレット P C 児童一人一台整備	令 2	タブレット P C 生徒一人一台整備
	体育館屋根改修工事	令 3	環境改善改修工事（体育館トイレ改修）	令 3	上グラウンド改修工事
令 4	体育館照明 L E D 化工事			令 4	体育館照明 L E D 化工事
令 5	防犯カメラ設置	令 4	体育館照明 L E D 化工事	令 5	外トイレ新設・防犯カメラ設置
令 7	タブレット P C 更新	令 5	防犯カメラ設置	令 7	タブレット P C 更新
		令 6	2階西側トイレ及び・プール脇外トイレ改修工事		
		令 7	2階東側トイレ改修工事		
			タブレット P C 更新		

3 学校保健

学校保健の推進

1 児童生徒健康管理事業

(1) 児童生徒の健康管理の充実

ア 法定健診の実施

イ 健康観察や法定健診の結果から疾病異常等を的確に把握し、伝染病の予防などの対策を行う。

ウ 学校保健委員会の活動の充実により、学校と家庭の連携を図る。

(2) 安全教育と安全管理の徹底

ア 安全指導教諭を中心に児童生徒の安全指導に努める。

イ 緊急時を想定した避難訓練等を定期的実施。

ウ 年に1度教職員を対象に救命救急講習会を実施。

エ 学校安全計画に基づく定期点検、日常点検等を確実に行う。



《越生小学校保健室》



《梅園小学校保健室》



《越生中学校保健室》

2 令和7年度 町立小・中学校身体測定結果(* 県平均は令和6年度)

		町平均		県平均	
項目		身長(cm)		体重(kg)	
性別		男	女	男	女
小学校	1 年	116.0	114.0	21.4	21.3
		117.0	116.2	21.7	21.2
	2 年	121.1	121.7	21.9	25.2
		123.0	122.4	24.6	24.6
	3 年	127.4	126.7	26.0	24.0
		128.8	128.2	27.8	27.3
	4 年	133.5	133.1	31.1	31.6
		134.3	134.6	31.6	31.4
	5 年	138.1	139.4	36.2	33.7
		139.9	141.6	35.2	35.8
	6 年	145.1	145.5	43.1	42.7
		145.8	148.2	39.3	40.1
中学校	1 年	153.4	150.4	46.5	44.4
		154.3	152.5	46.2	44.6
	2 年	160.9	156.3	48.7	49.0
		161.0	155.3	50.5	47.6
	3 年	167.5	156.9	56.1	49.0
		166.4	156.7	55.9	50.1

4 学 校 給 食

越生小学校給食調理場

所在地 越生町大字黒岩 2 5 1 番地（越生小学校内）

電 話 0 4 9 （ 2 9 2 ） 2 0 7 1 F A X 0 4 9 （ 2 9 2 ） 2 1 2 4

施設の概要

○新 築 昭和 5 2 年 3 月 （平成 1 2 年 3 月増改築）

○面 積 敷地及び建物 3 6 6 m² 鉄筋・鉄骨造

○主要設備 回転釜、野菜裁断機、揚物機、ガスレンジ、冷凍庫、冷蔵庫、炊飯設備、真空冷却器、食器洗浄機、食器食缶消毒保管庫

越生中学校給食調理場

所在地 越生町大字成瀬 6 1 8 番地（越生中学校内）

電 話 0 4 9 （ 2 9 2 ） 3 1 1 4 F A X 0 4 9 （ 2 9 2 ） 3 5 0 2

施設の概要

○新 築 昭和 5 3 年 3 月 （平成 2 8 年 9 月改修完了）

○面 積 建物 6 6 1 . 5 m² 鉄骨造

○主要設備 オープン、回転釜、野菜裁断機、揚物機、冷凍庫、冷蔵庫、炊飯設備、真空冷却器、食器洗浄機、食器食缶消毒保管庫、食卓、椅子

1 沿 革

越生町の学校給食は、越生小学校で昭和 4 1 年 4 月 1 0 日から、梅園小学校で昭和 4 2 年 4 月 1 0 日から自校の給食調理場にて完全給食をスタートした。

また、平成 1 2 年 3 月には越生小学校給食調理場で増改築が行われドライ化された。平成 1 8 年 3 月には、梅園小学校給食調理場を閉鎖し、同年 4 月からは、越生小学校調理場で小学校 2 校分の給食を作り、梅園小学校へ配送する親子給食を開始した。

一方中学校は、昭和 5 3 年 3 月に給食ホールが完成し、同年 4 月 2 8 日から完全給食がスタートした。この給食ホールは、生徒が一同に会し、楽しい食事を通じて生徒同士、生徒と教師間の温かな人間関係づくりの場として効果を上げている。平成 2 8 年 2 月に、耐震化を含めた大規模改修工事を開始し、平成 2 8 年 9 月に、エアコンを備えた快適なランチルームが完成した。

2 学校給食

実施状況（令和 8 年度）

区 分	小学校	中学校
実 施 校	2 校	1 校
食費（月額）	4, 0 0 0 円	4, 7 0 0 円
年間実施回数	1 8 8 回	

（1）給食調理業務 （株）東洋食品に委託。

（2）アレルギー対応 平成 2 5 年 1 0 月に「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、それに基づき、除去食などの対応を実施。

（3）地場産物の利用 越生町の特産である、梅・柚子を使用したメニューを積極的に取り入れている。

（4）食 育 の 推 進 越生小学校配置の栄養教諭を中心に、食育だよりの配付や保護者向けの給食試食会を実施している。

（5）無 償 化 事 業 令和 6 年 4 月から保護者の経済的負担軽減を図るため、小学校・中学校の学校給食費無償化事業を実施している。

Ⅲ 生涯学習

1 生涯学習

越生町教育振興基本計画では「人を育て文化を育む越生教育」を掲げ、子育てと教育のまちを目指している。その中で生涯学習推進策として「一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進」、「越生文化の継承と活用」、「生涯学習施設の環境整備」を柱にした施策を進めている。

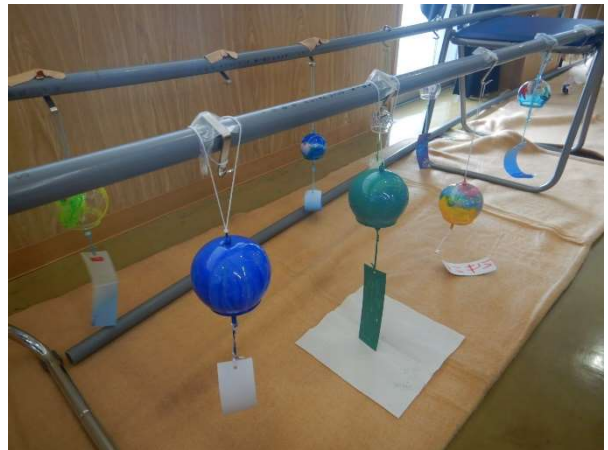
また、町民の学習意欲に応えるため、趣向を凝らした事業の実施と生涯学習環境の整備に努め、趣味活動、健康づくり、奉仕活動など生きがいがいづくりも促進している。



モルック体験教室



こどもフェスティバル



ガラス風鈴絵付け教室



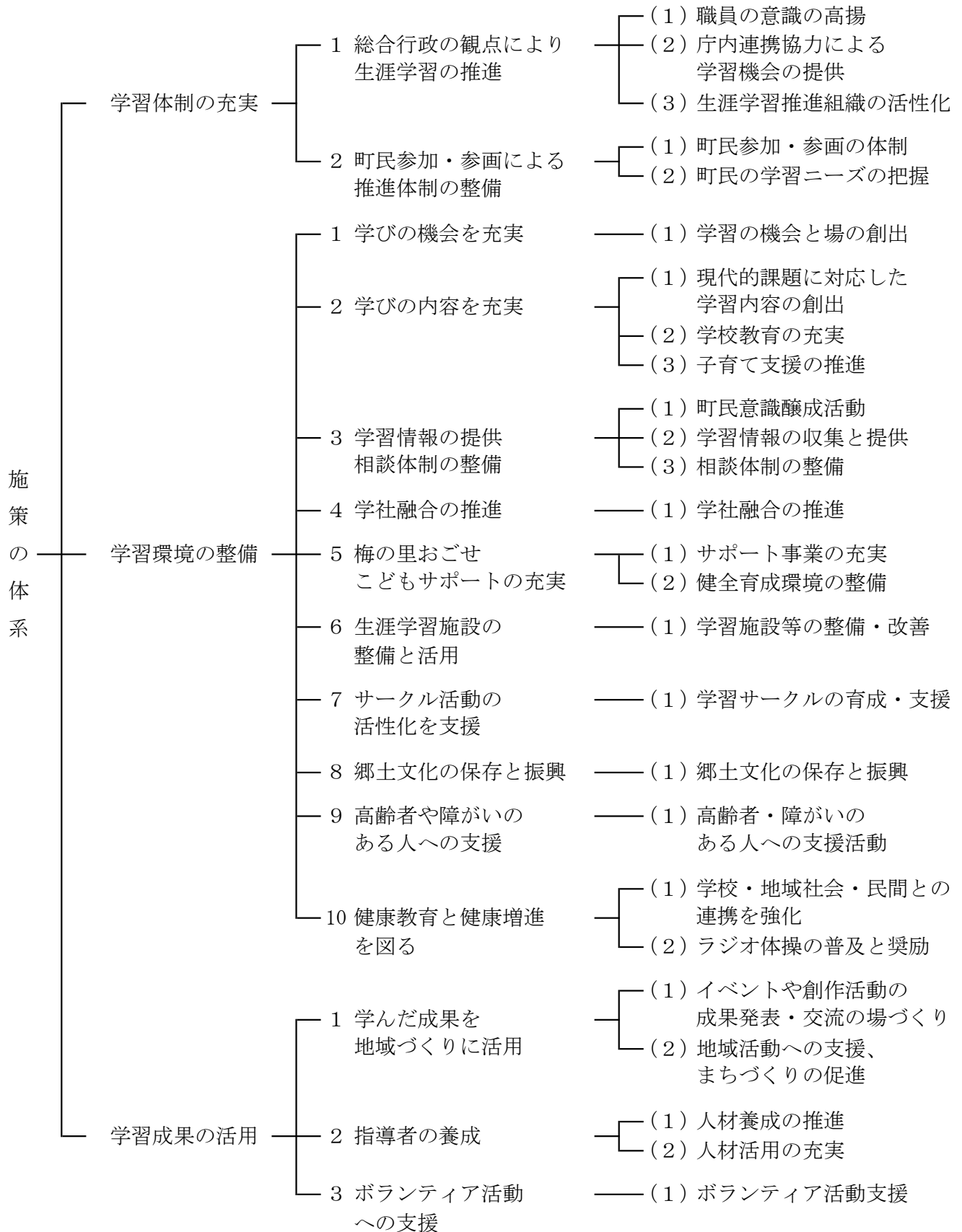
こどもおはやし大会

令和5年度から、「生涯学習講座」として各種講座を開催し、町民に芸術文化鑑賞の機会を提供している。

令和7年度においては、ガラス風鈴絵付け教室を実施。

また、こどもや若者を対象にした事業として、こどもフェスティバル、こどもおはやし大会をはじめ、梅の里おごせこどもサポート協議会やPTA、青少年相談員と連携して各種事業を行っている。

本年度も生涯学習の一層の充実を図るため、以下の施策を体系的に推進する。



2 スポーツ振興

町では、平成4年度に「健康づくりのまち」を宣言し、町民一人ひとりが自分自身の健康維持や体力づくりの活動に積極的に取り組んできた。また、平成28年4月29日には、全国で初めて「ハイキングのまち」を宣言し、歴史・文化・スポーツ・観光を取り入れたハイキングコースを整備し、町をあげてPRに取り組んでいる。

社会体育事業では、年間を通して町民のニーズに対応するため、各種大会や教室を開催している。施設面については、運動公園（野球場、テニスコート）、いこいの広場、中央公民館体育館、武道館、弓道場などのほか、平成28年4月から、新たに、パークゴルフ場を整備した。また、学校体育施設としては小・中学校の体育館、新武道場やグラウンドなどを開放している。

余暇時間の増加や健康保持意識の高まりから、スポーツ、レクリエーション活動のニーズは年々活発化・多様化し、「無理なく・簡単に・いつでも・生涯にわたり続けられる」生涯スポーツの振興はますます盛んになってきた。

このため、町では、年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず、町民誰もがスポーツを通じて21世紀の豊かさを享受できるように「する」・「みる」・「きわめる」・「ささえる」などスポーツに対する町民のかかわり方を尊重し、様々なスポーツとの出会いを通じた自己実現のための支援を行っている。

令和2年3月24日に越生町と株式会社西武ライオンズがそれぞれの持つ資源を活かし、協働してスポーツ振興や青少年健全育成するほか、地域振興に寄与することを目的に協定を締結した。

今後も、年間を通して健康づくりを進めるため、スポーツ推進委員、地区スポーツ推進委員と連携して各種教室やニュースポーツの普及啓発の充実を図るとともに、越生町スポーツ協会事業への支援を行うとともに、体育施設の整備に努め、適正な管理運営を推進する。

1 社会体育の振興

- (1) スポーツ人口の拡大と新たなスポーツの普及を進める
- (2) 生涯スポーツ推進体制の充実を図る
- (3) 既存施設の適正な管理と効率的な運営に努める
- (4) 各種スポーツ大会、スポーツ教室などを開催する

2 令和8年度実施予定の主な社会体育事業

- ・ グラウンドゴルフ大会（4・11月）
- ・ ソフトボール大会（5・9・10月）
- ・ バレーボール大会（4・6・10・12月）
- ・ パークゴルフ大会（4・11月）



梅の里おごせ
スポーツフェスティバル

- ・ゴルフ大会（５・１１月）
- ・ラジオ体操実践教室（６月）
- ・バスケットボール大会（１０月）
- ・梅の里おごせスポーツフェスティバル（１０月）
- ・ソフトテニス大会（１０月）
- ・卓球大会（１０・１１月）
- ・軟式野球大会（１１月）
- ・武道大会（１１月）



卓球大会

- ・黒山・鎌北湖駅伝大会（１２月）
- ・サッカー大会（１月）
- ・梅の里ちびっ子駅伝大会（２月）
- ・町民ふれあいスキー（３月）

３ 社会体育施設の貸出時間および学校体育施設の開放時間

・社会体育施設

施設名	貸出時間	使用料
中央公民館体育館	月曜日～日曜日、祝日（９：００～２１：００）	１，０００円／時間
運動公園テニスコート	月曜日～日曜日、祝日（７：００～１９：００）	５００円／時間
〃 野球場	月曜日～日曜日、祝日（７：００～１９：００）	１，０００円／時間
いこいの広場	月曜日～日曜日、祝日（７：００～１９：００）	５００円／時間
弓道場	月曜日～日曜日、祝日（７：００～２１：００）	５００円／時間
武道館	月曜日～日曜日、祝日（１９：００～２１：００）	５００円／時間
パークゴルフ場	木曜日～火曜日、祝日（９：００～１６：００）	５００円／日

※パークゴルフ場の使用料については、一人の料金です。

・学校体育施設

施 設 名		貸 出 時 間	使用料
小学校	体育館	月曜日～日曜日（19:00～21:00）	800 円／時間
		土・日曜日、祝日（ 9:00～21:00）	
	校 庭	土・日曜日、祝日（ 9:00～19:00）	無料
中学校	体育館	月曜日～日曜日、祝日（19:00～21:00）	800 円／時間
	校 庭	月曜日～日曜日、祝日（19:00～21:00） ※屋外運動場照明施設	1,500 円／時間
		武道場	



黒山・鎌北湖駅伝大会



梅の里ちびっ子駅伝大会

3 公 民 館

1 基本方針

公民館は、社会教育法第20条に規定されている「住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」施設である。

2 目 標

- (1) 学習要求に応える講座・教室等を開催し、公民館事業の充実を図る。
- (2) 生涯学習情報を提供し、学習機会の充実を図る。
- (3) 住民のニーズに応じた事業内容を把握し、利用者参画型の事業を推進する。
- (4) サークルの育成と活動を支援し、サークルの充実と会員相互の親睦を図る。
- (5) 公民館の整備・充実を図り、学習の拠点施設としての利用を促進する。

3 事業の概要

地域住民の学習要求に応じた様々な事業を実施する。
また、越生町の将来を担うこどもたちの成長のお祝いとして「七つの祝い」、若者の大人としての門出を祝う「二十歳のつどい」を実施する。

- (1) 七つの祝い・二十歳のつどいの実施
- (2) 講座・教室の開催（教養講座、料理教室など）
- (3) 展示会・講演会・講習会の開催
- (4) 情報の収集と提供
- (5) 各種団体、機関等との連絡を図ること



七つの祝い



二十歳のつどい

4 貸出事業

各公民館及び梅園コミュニティ館は、その事業に支障のない限り、住民の集会その他の公共的利用に供するため、施設を貸し出している。

(1) 利用時間 午前9時～午後9時

(2) 使用料 下表のとおり

※公民館・体育施設等使用登録団体のうち、メンバーの過半数が町内者で構成される団体については使用料を免除

名 称	室 名	使 用 料	
中 央 公 民 館	和 室	1時間につき	200円
	集 会 室	1時間につき	200円
	調理実習室	1時間につき	300円
	会 議 室	1時間につき	200円
	体 育 館	全面 1時間につき	1,000円
		半面 1時間につき	800円
	視聴覚ホール	1時間につき	1,500円
中央公民館分館 (ゆうがく館)	そぷらの	1時間につき	200円
やまぶき公民館	集 会 室	1時間につき	200円
	会 議 室	1時間につき	200円
	学 習 室	1時間につき	200円
	和 室	1時間につき	200円
梅園コミュニティ館	多目的室	1時間につき	200円
	交 流 室	1時間につき	200円
地域交流センター	集会室1 (和室)	1時間につき	200円
	集会室2 (洋室)	1時間につき	200円

5 施設の概要

越生町中央公民館

所在地 越生町大字越生917番地
 電 話 049-292-3223
 開館年月 昭和58年5月
 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 建築面積 2332.17㎡
 館内施設 集会室 会議室 調理実習室
 相談室 和室 展示ホール
 談話コーナー 体育館 視聴覚ホール (別棟・232席)



越生町中央公民館分館（ゆうがく館）

所在地 越生町大字越生 908 番地 12
開館年月 平成 14 年 11 月
構造 鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積 313.52㎡
館内施設 そぶらの



越生町やまぶき公民館

所在地 越生町越生東 3 丁目 5 番地 2
電話 049-292-6511
開館年月 平成 2 年 4 月
構造 鉄筋コンクリート造 2 階建
建築面積 558.32㎡
館内施設 集会室 会議室 保育室 学習室
和室 談話コーナー



梅園コミュニティ館

所在地 越生町大字小杉 553 番地
電話 049-298-8525
開館年月 平成 24 年 4 月
構造 鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積 552.98㎡
館内施設 多目的室 交流室 調理室
梅園学童保育室 図書館分室



地域交流センター

所在地 越生町上野東 5 丁目 300 番地 2
電話 ー
開館年月 平成 15 年 4 月
構造 木造平屋建
建築面積 287.27㎡
館内施設 集会室 1（和室）
集会室 2（洋室）



6 年間利用状況

年 度	中央公民館		ゆうがく館		やまぶき公民館	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
令和 3	52	1, 157	106	834	992	7, 769
令和 4	49	1, 358	266	1, 991	1, 454	11, 016
令和 5	1, 223	17, 741	208	1, 573	1, 477	12, 972
令和 6	1, 134	16, 941	258	1, 800	1, 409	12, 598
令和 7	1, 351	19, 192	187	1, 495	1, 465	13, 094

年 度	梅園コミュニティ館		地域交流センター	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
令和 3	96	902	136	1, 651
令和 4	400	2, 431	276	3, 677
令和 5	379	3, 586	228	3, 633
令和 6	366	4, 542	231	4, 041
令和 7	369	4, 914	266	4, 625

7 今後の課題

- 1 施設利用を促進する目的で平成 2 5 年度から、過半数を町民で構成される利用登録団体の使用料を免除している。高齢化するサークルの活動支援と活性化を図りながら、新たな団体やサークルの組織を支援する。
- 2 老朽化している施設や備品の日常点検を徹底し、計画的な修繕により施設の適切な維持管理を図る。

4 図 書 館



越生町立図書館

所在地	越生町大字越生 9 2 5 番地 1
電 話	0 4 9 - 2 9 2 - 6 1 1 6
F A X	0 4 9 - 2 9 2 - 6 3 0 7
開館年月	昭和 6 0 年 7 月
構 造	鉄筋コンクリート造り 2 階建て
建物面積	1, 0 9 2 m ²
館内施設	一般開架閲覧室、児童閲覧室、 絵本コーナー、第 1 閲覧室、第 2 閲覧室 (DVD 視聴コーナー、 自習コーナー) など

図書館ホームページ <http://www.lib.ogose.saitama.jp/>

1 図書館の現状

資料所蔵点数は、約 7 万 2 千点で、毎年 2 千点程度の資料を購入、受入している。

令和 7 年度の貸出点数は約 3 万 9 千点で、登録者一人当たりの貸出点数は約 3 点である。利用促進を図るために、過去 1 年間の新着図書が一目で分かるコーナーの設置、広報おごせに掲載したおすすめ図書コーナーの設置、利用実績に基づいた児童書の整備、音楽賞・映画賞受賞 CD・DVD の充実などを行った。

令和元年度から、梅園コミュニティ館の館内に図書室（梅園分室）を開室し、梅園地域の読書環境の整備と読書普及に努めた。また、児童生徒の読書環境の充実と図書館の蔵書の有効活用を図るため、町立図書館の図書を小中学校図書室に定期的に配本して貸出を行った。さらに、令和 7 年 7 月にコンピュータシステムの入れ替えを実施し、資料の検索処理速度が早くなり、利用者サービスの向上と資料の適正な管理が図られた。

生涯学習の拠点として、情報ネットワークの中核として、以下の 5 項目を重点目標に、住民への整った読書環境と資料・情報の提供に取り組んでいる。

- ① 資料（図書・雑誌・CD・DVD）の充実と利用促進
- ② 児童サービスの充実
- ③ 学校図書館との連携
- ④ インターネット蔵書検索・予約システムの活用
- ⑤ 施設・設備の適切な維持管理



1 階 新聞雑誌コーナー



越生町関連図書コーナー

【開館日】

火～日曜日 午前 9 時 3 0 分～午後 5 時 3 0 分

【休館日】

本 館：月曜日、祝日（ただし、土・日曜日に重なった場合は開館。月曜日に重なった場合は翌火曜日にも休館）、年末年始、特別整理期間。

梅園分室：年末年始、特別整理期間。

2 事業の概要

- (1) 資料の充実
購入・寄贈による収集と貸出の促進
- (2) 梅園分室の整備
梅園コミュニティ館内にある梅園分室の円滑な運営
- (3) 読書普及のための事業の実施
図書館こどもまつり、人形劇と映画のつどい、おはなし会、論語講座、古文書入門講座、おりがみ教室、古典文学講座、読書会、リサイクルコーナー
- (4) 視聴覚資料の利用促進
CD及びDVDの充実、DVD視聴コーナーの活用

3 資料所蔵点数（令和7年度実績）

種 別	購 入	寄 贈	除 籍	総点数
一般書	946 冊	158 冊	2,773 冊	48,431 冊
児童書（絵本・紙芝居含む）	640 冊	35 冊	1,520 冊	19,912 冊
雑 誌	412 冊	32 冊	412 冊	1,266 冊
C D	16 点	0 点	0 点	2,836 点
D V D	43 点	0 点	5 点	1,634 点
合 計	2,057 点	225 点	4,710 点	74,079 点

4 令和7年度利用状況（※人口は令和8年4月1日現在）

- (1) 登録率

登 録 者 数 10,695人（町民）

人 口 10,457人

= 102.3%
- (2) 回転率

貸 出 点 数 39,369点

蔵 書 点 数 72,813点

= 54.1%
- (3) 町民1人あたりの貸出点数

貸 出 点 数 34,501人（町民）

人 口 10,457人

= 3.3点
- (4) 登録者1人あたりの貸出点数

貸 出 点 数 39,369点

総登録者数 12,188人

= 3.2点

- (5) リクエスト件数 4, 4 1 1 件
- (6) 図書館相互貸借件数（※埼玉県内の市町村立図書館）
借受863点／貸出1, 239点
- (7) 図書館広域利用件数
利用人数874人／貸出点数3, 580点
（※川越都市圏まちづくり協議会加盟市町及び鳩山町）



図書館こどもまつり（絵本のよみきかせ）

5 文化財保護

越生町には、国指定2件、県指定17件、町指定38件、国登録5件をはじめとするさまざまな文化財がある。恵まれた自然と特色ある歴史環境の中で守り伝えられてきた、町民共有のかけがいのない財産である文化財の適切な保護・保存策を講じて、町民の郷土に対する理解と関心を高め、併せて観光や地域振興と連携した活用を図ることが必要である。

町では、有形・無形文化財や天然記念物の維持管理や修復、民俗芸能保存団体への助成、美術工芸品、建造物、古文書、埋蔵文化財などを対象とした調査を実施している。また、昭和52年度から平成20年度まで、町史編さん事業を実施し、調査成果は『調査報告集』『越生叢書』『越生の歴史』『越生の自然』にまとめ公刊した。

令和4年度には、今までの調査過程で蓄積された資料を活用し、文化財マップ『おごせは町ごと博物館 越生探訪地図』を発行した。

主要事業の概要

令和4年度

- (1) 県指定天然記念物「上谷の大クス」枝折れ対策工事業
- (2) 令和3年度補正予算地域文化財総合活用推進事業「越生町文化遺産活用事業」
- (3) 文化財マップ『おごせは町ごと博物館 越生探訪地図』作成・発行
- (4) 「渋沢平九郎の位牌」と「渋沢平九郎の墓」が、町指定有形文化財に指定
- (5) 見学会・研修会・講演会等への協力

令和5年度

- (1) 令和5年度地域文化財総合活用推進事業「越生町文化遺産活用事業」
- (2) 町指定文化財「渋沢平九郎の位牌」説明板新設事業
- (3) 文化財普及活用事業「太田道灌像展・渋沢平九郎展」、「越生の文化財展」を開催
- (4) 埋蔵文化財包蔵地に係る開発行為等への対応
- (5) 見学会・研修会・講演会等への協力

令和6年度

- (1) 令和6年度地域文化財総合活用推進事業「越生町文化遺産活用事業」
- (2) 県町指定天然記念物「大高取山のコシダ群落」スギ・ヒノキ伐採事業
- (3) 「魁雪」が、町指定天然記念物に指定
- (4) 中世石造物調査の開始

- (5) 文化財解説リーフレット『越生のさら』作成・発行
- (6) 見学会・研修会・講演会等への協力

令和7年度

- (1) 文化庁地域文化遺産活用事業「越生町文化遺産活用事業」
- (2) 『越生郷土かるた』復刊
- (3) 埼玉県文化振興基金助成金事業（上野獅子舞保存会）への協力
- (4) 中世石造物調査
- (5) 歴史・文化財解説版の維持管理
- (6) 見学会・研修会・講演会等への協力



『越生郷土かるた』増補改訂版

平成元年（1990）に町制施行100周年を記念して作成された「かるた」の増補改訂版を刊行した。

指定文化財等一覧

令和8年4月 現在

国指定重要文化財：2件

種 類	名 称	員数	所有者（管理者）	指定年月日
絵 画	絹本著色高野明神像・丹生明神像	2幅	法恩寺㊦	明治39.4.14
〃	絹本著色釈迦三尊及阿難迦葉像	1幅	法恩寺㊦	大正3.4.17

国登録有形文化財：5件

種 類	名 称	員数	所有者（管理者）	指定年月日
有形文化財	岡野家住宅店蔵	1棟	個人	平成20.7.8
〃	岡野家住宅土蔵	1棟	個人	平成20.7.8
〃	金子家住宅主屋	1棟	個人	平成26.4.25
〃	星野家住宅主屋及び袖蔵	1棟	個人	令和2.4.3
〃	世界無名戦士之墓	1棟	一般財団法人 世界無名戦士之墓顕彰会	令和2.4.3

県指定有形文化財：7件

種 類	名 称	員数	所有者（管理者）	指定年月日
建 造 物	龍穩寺経蔵	1棟	龍穩寺	昭和58.3.22
彫 刻	木造如意輪観音半跏像	1軀	如意輪観世音檀徒	昭和39.3.27
〃	木造薬師如来立像	1軀	黒山区 (越生町教育委員会) ㊦	平成3.12.6
〃	木造五大明王像	5軀	黒岩区㊦	平成12.3.17
工 芸 品	龍穩寺銅鐘	1口	龍穩寺	昭和48.3.9
〃	金銅装説相箱及び戒体箱	3口、1合	法恩寺㊦	平成28.3.15
絵 画	絹本着色両界曼荼羅	2幅	法恩寺㊦	平成18.3.17

県指定記念物：10件

種 類	名 称	員数	所有者（管理者）	指定年月日
旧 跡	太田道真退隠地		建康寺	昭和36.9.1
〃	田代三喜生地		個人	昭和36.9.1
〃	伝山吹の里		越生町	昭和36.9.1
名 勝	越生の梅林		越生梅林保勝会 (越生町観光協会)	昭和15.3.31
天然記念物	上谷の大クス	1本	個人（越生町）	大正11.3.29
〃	黒山の特殊植物群落		個人（黒山区）	昭和31.11.1
〃	大高取山のコシダ群落		越生町	昭和39.3.27
〃	龍穩寺の着生植物群		龍穩寺	平成25.3.12
〃	梅園神社のスダジイ林		梅園神社	昭和49.5.28
〃	龍ヶ谷の障子岩（断層鏡肌）		個人	令和2.2.21

町指定有形文化財：23件

種 類	名 称	員数	所有者（管理者）	指定年月日
建 造 物	龍穩寺の山門（無相門）	1棟	龍穩寺	昭和46.2.2
〃	大宮神社本殿	1棟	大宮神社	平成12.8.24
〃	八幡神社本殿	1棟	八幡神社	平成12.8.24
〃	梅園神社本殿	1棟	梅園神社	平成12.8.24
〃	熊野神社社殿	1棟	熊野神社	平成12.8.24
彫 刻	大宮神社の聖天像	1軀	大宮神社	昭和37.2.14

〃	高蔵寺の地藏像	1軀	高蔵寺㊦	昭和37. 2. 14
〃	中村薬師像	1軀	上谷区下組 (越生町教育委員会) ㊦	昭和37. 2. 14
〃	下ヶ戸薬師十二神将像	12軀	(越生町教育委員会)	昭和49. 11. 28
〃	法恩寺大日如来坐像	1軀	法恩寺	昭和57. 6. 25
〃	見正寺聖観音立像	1軀	見正寺	昭和57. 6. 25
〃	石造役行者坐像 付 石像 4 軀	5軀	個人 (黒山区)	平成19. 4. 17
工 芸 品	八幡神社の金剛盤	1面	八幡神社㊦東京国立博物館	昭和37. 2. 14
〃	最勝寺の笈	1背	最勝寺	昭和46. 2. 2
典 籍	法恩寺年譜	2冊	法恩寺㊦	昭和38. 3
〃	龍穩寺一切蔵經	一括	龍穩寺	昭和56. 7. 10
考古資料	興禅寺の板碑	1基	興禅寺	昭和37. 2. 14
〃	大平山栄円の墓	1基	個人 (黒山区)	昭和37. 2. 14
歴史資料	梅園神社の棟札	28枚	梅園神社㊦埼玉県立文書館	昭和37. 2. 14
〃	亀田鵬斎書 幟	1対	上町区	平成21. 7. 27
〃	鈴木金兵衛の巡拝碑と句碑	巡拝碑104基 句碑7基	黒岩区ほか	平成26. 4. 9
〃	渋沢平九郎の位牌	1 基	全洞院	令和4. 9. 26
〃	渋沢平九郎の墓	1 基	全洞院	令和4. 9. 26

町指定民俗文化財（有形）：8 件

種 類	名 称	員数	所有者・管理者	指定年月日
有形民俗	越生神社祭典 河原町山車	1基	河原区	昭和63. 4. 1
〃	〃 新宿町山車	1基	新宿区	昭和63. 4. 1
〃	〃 上町山車	1基	上町区	昭和63. 4. 1
〃	〃 仲町山車	1基	仲町区	昭和63. 4. 1
〃	〃 本町山車	1基	本町区	昭和63. 4. 1
〃	〃 黒岩町山車	1基	黒岩区	昭和63. 4. 1
〃	越生神社 神輿	3基	越生神社	平成23. 9. 28
〃	西和田天王社 神輿	1基	西和田尾崎組・山田組	平成24. 7. 13

町指定民俗文化財（無形）：4 件

種 類	名 称	員数	所有者・管理者	指定年月日
無形民俗	八幡神社の獅子舞		津久根獅子舞保存会	昭和49. 11. 28
〃	東山神社の獅子舞		上野獅子舞保存会	平成9. 4. 1
〃	梅園神社の獅子舞		梅園獅子舞保存会	平成9. 4. 1
〃	住吉神社の獅子舞		麦原獅子舞保存会	平成9. 4. 1

町指定記念物：3 件

種 類	名 称	員数	所有者・管理者	指定年月日
史 跡	渋沢平九郎自決の地		(黒山区)	昭和37. 2. 14
天然記念物	龍ヶ谷のヤマザクラ	1本	個人	平成9. 4. 1
〃	魁雪	1本	越生町 (越生町観光協会)	令和7. 1. 9

㊦は、寄託資料。（注記がないものは、埼玉県立歴史と民俗の博物館に寄託）

指定文化財等件数

国	県	町						計
重要 2	登録 5	有形文化財 7	記念物 10	有形文化財 23	有形民俗 8	無形民俗 4	記念物 3	62

教育委員会委嘱等委員一覧

1 就学支援委員

令和7年4月1日～令和9年3月31日

学 校 医 代 表	市川 正之
心 理 学 専 門 家	齋藤 友介
毛呂山特別支援学校 教諭	北村くるみ
越 生 小 学 校 校 長	日向野 勝
教 諭	田原 和重
梅 園 小 学 校 校 長	関口 学
教 諭	寺本 佳弘
越 生 中 学 校 校 長	本橋友見子
教 諭	荒井真由美
越生みどり幼稚園 園長	篠原 民子
山 吹 保 育 園 園長	松澤 貴
越 生 保 育 園 園長	高野 真吾
保健センター 主査	菅谷 幸子

3 学校医等

令和8年4月1日～令和9年3月31日

<内科医>

越生小学校	中野 裕史
梅園小学校	市川 正之
越生中学校	本清 憲一

<耳鼻科医>

越生小学校	久保田 修
梅園小学校	
越生中学校	

<眼科医>

越生小学校	石川 克也
梅園小学校	
越生中学校	

<歯科医>

越生小学校	荒井 洋充
梅園小学校	市川 智久
越生中学校	

<学校薬剤師>

越生小学校	小林知嘉子
梅園小学校	
越生中学校	

2 学校給食運営委員

令和8年4月1日～令和9年3月31日

越生小学校 校 長	日向野 勝
養 護 教 諭	神山 美穂
栄 養 教 諭	中居 博子
P T A 会 長	黒澤 雅至
梅園小学校 校 長	関口 学
養 護 教 諭	矢島 光里
P T A 会 長	浅見 敦
越生中学校 校 長	本橋友見子
教 諭	山崎凜太郎
養 護 教 諭	岩松 沙帆
P T A 会 長	上領 浩嗣
校 医	市川 正之
薬 剤 師	小林知嘉子

4 文化財保護委員

令和8年4月1日～令和10年3月31日

委 員 長	山口 眞澄
副委員長	草地 明子
委 員	竹内 啓
委 員	石井 健

5 スポーツ推進委員

令和7年4月1日～令和9年3月31日

委 員 長	福嶋 清一
委 員	宮崎貴美江
委 員	新野 敦子
委 員	間々田泰輝
委 員	島田 英武
委 員	能仲和歌子
委 員	岡本 利恵
委 員	平野 陽介

6 社会教育委員

令和7年4月1日～令和9年3月31日

委 員 長	公民館利用サークル	高木 隆
副委員長	元高等学校教頭	新井 良二
委 員	元子ども会会長	島田 理恵
委 員	元小学校長	酒本 希朱
委 員	元会社員	石井 裕
委 員	梅園小学校長	関口 学



河原町山車



仲町山車



本町山車の神武天皇人形



黒岩町山車

よみがえった越生の山車

毎年7月中・下旬に催される「越生まつり」では、6台の山車の上で繰り広げられるはやし囃子と踊りの競演が、華やかな江戸の天下祭の名残を今に伝えている。

令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金事業（地域文化財総合活用推進事業）の補助をうけて、町指定文化財の山車6台のうち、河原町山車と仲町山車の太鼓、本町山車の太鼓杵と山車人形、黒岩町山車本体の修理を実施した。

教育要覧

おごせの教育

令和8年度

令和8年5月

編集・発行

越生町教育委員会

埼玉県入間郡越生町大字越生917番地

電話 049-292-3121(代)

eメール kyouiku1@town.ogose.saitama.jp